

安全データシート

1. 化学品及び会社情報	
化学品の名称	CHIR99021
コンポーネント名	
商品コード	SRD社 商品コード:CHIR-002
供給者の会社名称	フナコシ株式会社
住所	東京都文京区本郷2-9-7
担当部門	法規制担当
電話番号	03-5684-5107
FAX番号	03-5802-5218
推奨用途及び使用上の制限	研究用試薬
整理番号	DEL1485V03 (2026/4/1)
2. 危険有害性の要約(以下、SDSは単一物質としての評価に基づき作成)	
化学品のGHS分類	GHS分類に該当するデータは得られていない。
GHSラベル要素	
絵表示	なし
注意喚起語	データなし
危険有害性情報	データなし
注意書き	
安全対策	データなし
応急措置	データなし
保管	データなし
廃棄	データなし
他の危険有害性 重要な徴候及び想定される非常 事態の概要	
3. 組成及び成分情報	
化学物質・混合物の区別	単一製品
化学名又は一般名	CHIR99021
CAS番号	252917-06-9
濃度又は濃度範囲	100%
化学式	C22H18Cl2N8
化審法官報公示番号	
安衛法官報公示番号	
分類に寄与する不純物及び安 定化添加物	データなし
以下、該当する単一成分のSDSを記載する。	
4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最 も重要な徴候症状	吸入: 咽頭痛、息苦しさ、胸のつかえ。皮膚、眼: 軽い刺激、発赤。
応急措置をする者の保護	データなし
医師に対する特別な注意事項	データなし

5. 火災時の措置	
適切な消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性 特有の消火方法	周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 棒状注水。 火災によって刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
消火を行う者の保護	
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具 及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 低地から離れ、風上に留まる。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び 機材	危険でなければ漏れを止める。漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
二次災害の防止策	全ての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	周辺での高温物、火花、火気の使用を禁止する。 吸入、眼、皮膚との接触、飲み込みを避けること。 長期又は繰り返しのばく露を避けること。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 「10. 安定性及び反応性」を参照。
接触回避 衛生対策	取扱い後はよく眼と手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。 酸化剤から離して保管する。 冷所、換気の良い場所で保管すること。 直射日光を避け、容器を密閉して保管すること。
安全な容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	未設定
許容濃度(産衛学会)	未設定
許容濃度(ACGIH)	未設定
設備対策	取り扱いの場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣、保護面を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	固体
色	オフホワイト

臭い	データなし
融点／凝固点	> 250°C(分解)
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	> 250°C
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に不溶。DMSOに可溶(20mM)。
n-オクタノール／水分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	加熱すると分解し、一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、窒素酸化物などの有害なヒュームを生じる。
避けるべき条件	炎や熱、湿気、光へのばく露。混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸／塩基、強酸化剤／還元剤。
使用、保管、加熱の結果生じる危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、窒素酸化物など。
その他	

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	データなし
経皮	データなし
吸入	データなし
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	データなし
水生環境有害性 長期(慢性)	データなし
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	本品を廃棄する際には、国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと。廃棄処理中に危険が及ばないように十分注意すること。
-------	---

汚染容器及び包装

関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	Not Applicable
UN No.	
Proper Shipping Name	
Class	
Sub Risk	
Packing Group	
Marine Pollutant	Not Applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II, and the IBC code.	Not Applicable
航空規制情報	Not Applicable
UN No.	
Proper Shipping Name	
Class	
Sub Risk	
Packing Group	
国内規制	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	非該当
国連番号	
品名	
国連分類	
副次危険	
容器等級	
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及び IBCコードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	非該当
国連番号	
品名	
国連分類	
副次危険	
等級	
特別の安全対策	
緊急時応急措置指針番号	なし

15. 適用法令

	「3. 組成及び成分情報」に記載している濃度によっては、以下の法令に適用されない場合もあります。ご不明な場合は、フナコシウェブサイトよりお問合せください。 お問い合わせ一覧 https://www.funakoshi.co.jp/inquiries/lists
毒物及び劇物取締法	劇物(法第2条第2項別表第2第94号、指定令第2条第1項)【第32号 有機シアン化合物及びこれを含有する製剤】 CHIR99021 除外品目を除く。
水質汚濁防止法	有害物質(法第2条第2項第1号、施行令第2条)【第2号 シアン化合物】
下水道法	水質基準(法第12条の2第1項、施行令第9条の4)【第2号 シアン化合物】

水道法	水質基準(法第4条第2項、平成15年5月30日省令第101号)【10 シアン化物イオン及び塩化シアン】
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4)【第5号ホ、ルの7 シアン化合物を含むもの(特定有害産業廃棄物・指定下水汚泥、汚泥、廃酸又は廃アルカリ及びそれらの処理物)】 次の基準に適合しないものに限る。(施行規則第1条の2第7項、第13項) (1)廃棄物が廃酸又は廃アルカリの場合は当該廃棄物に含まれるシアン化合物の量が1mg/L以下であること (2)廃棄物が廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該廃棄物に含まれるシアン化合物の量が1mg/L以下であること (3)処理物が、廃酸又は廃アルカリの場合は当該処理物に含まれるシアン化合物の量が1mg/L以下であること (4)処理物が、廃酸又は廃アルカリ以外の場合は当該処理物に含まれるシアン化合物の量が1mg/L以下であること
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1、平成25年9月30日告示第316号)【シアン化水素、シアン化ナトリウム等のシアン化合物】 年少者就業制限危険有害物(法第62条第2項、年少者則第8条)【第33号 鉛、水銀、クロム、砒素、黄りん、弗素、塩素、シアン化水素、アニリンその他これらに準ずる有害物】 ガス、蒸気又は粉じんを発散する場所における業務
土壤汚染対策法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)【第5号 シアン化合物】

16. その他の情報

参考文献	経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 日本ケミカルデータベース ezCRIC+ 安全衛生情報センター GHS対応モデルSDS SDS:Axon Medchem BV (Catalog #1386) SDS:Tocris Bioscience (Catalog #4423)
その他	◆危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。 ◆本データシートは情報を提供するもので、記載内容を保証するものではありません。 ◆表記の試験研究用試薬以外に本データシートを適用しないで下さい。 ◆輸送中、保管中、廃棄後も含めて、内容物や容器が、製品知識を有しない者の手に触れぬよう、厳重に注意して下さい。